

伊勢・三河湾貧酸素情報(H29-16号)

平成29年10月27日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成29年10月25、26日に伊勢湾、10月24、25日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

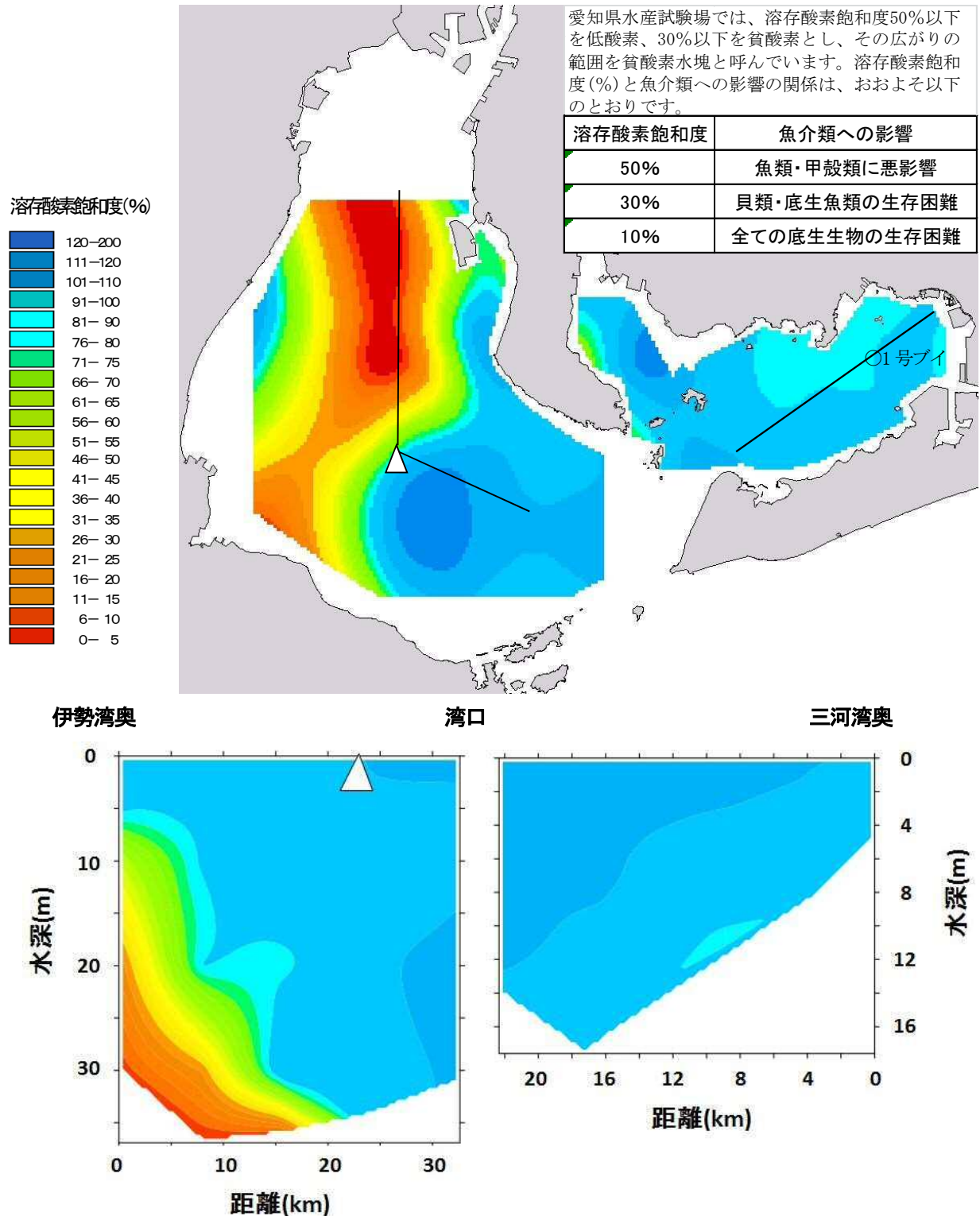


図1 伊勢湾(10月25、26日)、三河湾(10月24、25日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「海幸丸」、「へいわ」調査)

伊勢湾

10月25、26日の調査結果を図1及び表1に示しました。前回調査(10月3日)に比べ、貧酸素水塊は縮小していました(図1)。

今後は表層水温が下降するため、海水の上下混合が起きやすくなることから、貧酸素水塊は徐々に解消に向かうものと考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	17.7~20.6	14.8~29.9
底層	20.7~23.3	28.6~33.2

三河湾

10月24、25日の調査結果を図1及び表2に示しました。前回調査(10月11日)と同様に、三河湾全体で貧酸素水塊は発生していませんでした(図1)。

自動観測1号ブイ(蒲郡沖)のデータを見ると、10月22日から23日にかけて通過した台風第21号の影響により海水の上下混合が起り、10月24日以降、溶存酸素飽和度が高い状態で推移していた様子が観測されました(図2)。

今後は表層水温が下降するため海水の上下混合が起りやすくなることから、貧酸素水塊の著しい発達はないと考えられます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	18.6~20.7	18.0~28.8
底層	20.2~22.2	22.7~31.6

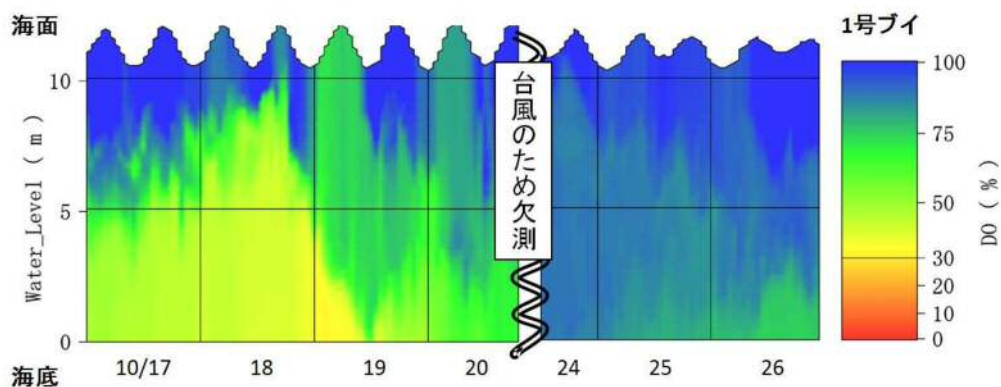


図2 溶存酸素飽和度(DO)の経時変化(自動観測1号ブイ)

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

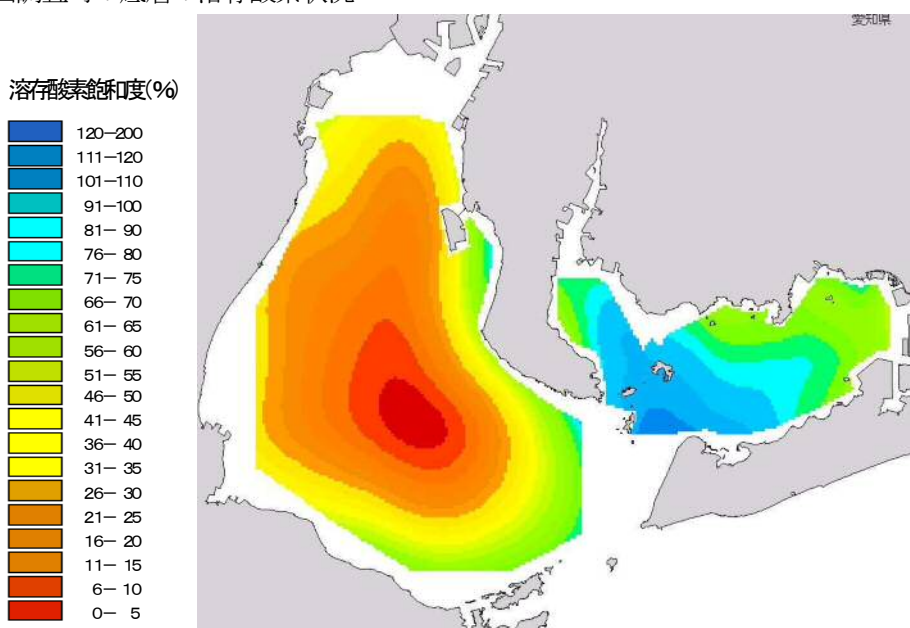


図3 平成29年10月3日(伊勢湾)、10月11日(三河湾)